

# 文化情報プラットフォーム構想 ～toward and beyond 2020～

平成29年9月

文化庁長官官房政策課 堀口 昭仁

# 1. 背景

## 文化プログラムの位置づけ

### ◆「オリンピック憲章」

- オリンピズムは、人生哲学であり、肉体と意思と知性の資質を高めて融合させた、均衡のとれた総体としての人間を目指すものである。スポーツを文化と教育と融合させることで、オリンピズムが求めるものは、努力のうちに見出される喜び、よい手本となる教育的価値、社会的責任、普遍的・基本的・倫理的諸原則の尊重に基づいた生き方の創造である。(根本原則)
- オリンピック競技大会組織委員会は、短くともオリンピック村の開村期間、複数の文化イベントのプログラムを計画しなければならない。このプログラムは、IOC理事会に提出して事前の承認を得るものとする。(第5章・第39条)

### オリンピックにおける文化的要素の変遷

第1回アテネ～第4回ロンドン 〔1896～1908年〕	文化的要素無し
第5回ストックホルム～第14回ロンドン 〔1912～1948年〕	芸術競技の時代 ～スポーツを題材とした建築、彫刻、絵画、音楽、文学の作品がメダルを争う～
第15回ヘルシンキ～第24回ソウル 〔1952～1988年〕	芸術展示の時代 ～開催国の芸術を中心に展示～
第25回バルセロナ～ 〔1992～〕	文化プログラムの時代 ～芸術の展示にとどまらない多彩なプログラムや行事を実施～
第30回ロンドン～ 〔2012～〕	文化プログラムの新時代へ突入 ～大規模な文化プログラムを開催都市ロンドンにとどまらず英国全土で展開し、さまざまなレガシーをもたらす～

## 2012年ロンドン大会における文化プログラム



### 【文化プログラム開催概要】

時期: 北京五輪終了後(2008年9月)からロンドン五輪終了時(2012年9月)まで

場所: 英国全土で1,000箇所以上

アクティビティ総数: 約11万7千件

(音楽、演劇、ダンス、美術、文学、ファッション、映画、展示会、ワークショップ等)

参加アーティスト: 40,464人(うち6,160人が若手アーティスト、806人が障害のあるアーティスト)

総参加者数: 約4,340万人

実施団体: 組織委、アーツカウンシルイングランド、文化・メディア・スポーツ省(国)、ロンドン市、レガシートラストUK、その他自治体等

メジャー・プロジェクト例: 世界シェークスピアフェスティバル(シェークスピアの戯曲を37カ国による37の異なる言語で実演)  
アンリミティッド(身体に障害のあるアーティストによる上演・展示)

### 【文化プログラムによる効果】

#### ① 文化レベルの向上

- 新たな作品の創造(5370作品の誕生)、文化、企業、教育、自治体等の**新たなパートナーシップの誕生(10,940)**
- 文化プログラムで創出されたプロジェクトの半数が2012年以降も継続(ファンディング等により)

#### ② 幅広い層への文化活動への参画

- 参加者4,340万人。参加者やメディアにおける高い評価。参加者アンケートで8割以上が期待以上と回答

#### ③ 観光産業への貢献

- 外国人観光客の集客は、**2012年から2013年で約5.2%の伸び率**
- 2012年の英国の国のブランドランキングでは、文化関連の項目の評価が向上(1ポイント)したことにより、**英国は順位を1つ上げて4位に(ロンドンのブランドランキングは、2012年に1位に)**

#### ④ 自国文化の誇り、子ども・若者の自尊感情の醸成、障害者への理解、障害者アーティストの活躍等

## 基本方針等における記述(例)

### **【文化プログラムの実施に向けた文化庁の基本構想 (平成27年7月文化庁)】**

文化庁としては、「文化カプロジェクト(仮称)」について以下の規模で全国津々浦々で実施することを目標とする。

イベント数 20万件

参加アーティスト数 5万人

参加人数 5,000万人

### **【日本再興戦略2016(平成28年6月2日閣議決定)】**

・文化芸術資源を掘り起こし、地域活性化につなげる「文化プログラム」の全国展開(2020年までに20万イベント)の推進や文化プログラムに関する文化芸術情報の国内外への発信等に取り組む。

## 東京2020大会に向けた文化プログラムの枠組

	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会		文化を通じた機運醸成策に関する関係府省庁等連絡・連携会議
プログラム	<b>東京2020文化オリンピックアード</b>		<b>beyond2020 プログラム</b>
	<b>東京2020公認 文化オリンピックアード</b>	<b>東京2020応援 文化オリンピックアード</b>	
概要	「 <u>オリンピック憲章</u> 」に基づいて行われる公式文化プログラム  東京大会の主なステークホルダー等が大会ビジョンの実現に相応しい文化芸術性の高い事業を実施	「 <u>オリンピック憲章</u> 」に基づいて行われる公式文化プログラム  非営利団体等がオリンピック・パラリンピックムーブメントを裾野まで広げる事業を実施。	2020年以降を見据え、レガシー創出に資する文化プログラム  営利・非営利を問わず多様な団体が実施。  ※オリンピック・パラリンピックの文言使用は不可
実施主体	組織委員会、国、開催都市、会場所在地地方公共団体、公式スポンサー、JOC、JPC	会場所在地以外の地方公共団体、独立行政法人を含む非営利団体	文化オリンピックアードの実施主体に加えて、公式スポンサー以外の企業も対象
ロゴマーク			

## 各プログラムの認証要件

### 東京2020文化オリンピック

大会ビジョン、文化オリンピックのコンセプトを実現する事業内容かどうか総合的に審査

#### 【大会ビジョン】

全員が自己ベスト

多様性と調和

未来への継承

#### 【文化オリンピックのコンセプト】

日本文化の  
再認識と継承・発展

次世代育成と  
新たな文化芸術の  
創造

日本文化の  
世界への発信と  
国際交流

全国展開による  
あらゆる人の  
参加・交流と  
地域の活性化

### beyond2020プログラム

日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、共生社会、国際化につながるレガシーを創出する取組かどうかを審査

#### 【必須要件】

日本文化の魅力を  
発信する取組

+

障害者にとってのバリアを  
取り除く取組

又は

外国人にとっての言語の  
壁を取り除く取組

## 2. 文化情報プラットフォームとは

# 文化情報プラットフォーム構想

全国各地で実施される文化プログラムや文化施設等の情報を一元的に集約するプラットフォーム(データベース)を構築し、当該情報を国内外に発信する。将来的には民間事業者等も活用できるようオープンデータとして提供し、様々なサービスの創出を目指し、2020年以降のレガシーとする。

運用イメージ

平成29年5月26日から運用開始

<http://culture-nippon.go.jp>

- ・文化芸術活動の見える化・発信を促進する観点から、文化庁が「文化情報プラットフォーム」を構築。自治体、文化施設、イベント主催者、ボランティアなど多くの協力を得ながら、オープン方式での運営を目指す
- ・登録された情報は将来的にオープンデータとして提供し、民間事業者による多様なサービスの創出を促進
- ・機械翻訳エンジンを活用し、英語、中国語、韓国語、フランス語など多言語での情報発信を目指す



自治体・文化施設等に情報を登録・発信するための権限を委譲



文化施設等職員・ボランティアによる登録



既存の文化施設Webサイト



既存の文化情報データベース

登録・編集のための簡易な編集サイトを提供

現行Webサイトから自動で情報収集

既存データベースと連携して自動で情報収集

文化情報入力

文化情報プラットフォーム

文化プログラム

多言語(機械翻訳)

文化施設

各種検索(地域・作家等)

文化団体

編集・承認権限設定

beyond2020プログラム

電子申請・承認

「beyond2020プログラム」の電子申請システムと連動

オープンデータ

オープンデータとして公開することで第三者が多様なサービスを創出することが見込まれる



文化庁ポータルサイト Culture Nippon

観光系情報サービス

公共交通系情報サービス

地域情報発信メディア



# テーマはOPEN

1. ポータルサイトではなく、オープンデータのプラットフォーム
2. なんでも登録～文化オリンピックやbeyond2020だけでなく、お祭りや商店街のイベントも～
3. みんなで運営～オープン形式による運営～
4. 誰でも活用可能～オープンデータ(API)として情報提供
5. 既存の財産は活用～機械翻訳、既存のポータルサイト～
6. beyond2020の登録がオンラインで可能
7. 文化庁は黒子～将来的に自走を目標～

# CULTURE NIPPON トップページ

[言語を選択](#)

## Culture NIPPON

試行版

### Culture NIPPON

カルチャーニッポン

#### シンポジウム in 富山

2017年10月29日(日) 富山国際会議場大手町フォーラム

主催 文化庁 [詳細・申込はこちら](#)





beyond2020プログラム

[> 申請はこちら](#)



文化  
オリンピック



文化庁  
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

ニッポンたからものプロジェクト

NIPPON TAKARAMONO PROJECT

日本遺産 × LiveArt







---

エリア

From  To  キーワード

beyond2020
公認文化オリンピック
応援文化オリンピック
展覧会
公演
上映会
講座
講演
ワークシ:

**発掘された映画たち2018**

東京国立近代美術館フィルムセンター大ホール

【開催日時】  
2018年1月30日～3月4日

【内容】  
「発掘された映画たち」は、フィルムセンターが新たに発掘・復元した映画を紹介するシリーズ企画であり、今回は2015年から2017年の間に発掘・復元した日本の劇映画や文化・記録映画、ニュース映画などから多種多様な作品群を上映する。会期中に、文化財・歴史資料としての視覚遺産の大切さとそれらを保存することの重要性や意義についての認識も深めていただけるよう、上映とあわせて当館研究員等のトークイベントを開催する。

【料金】  
有料…



文化の森 秋のファミリーコンサート

徳島県立二十一世紀館 イベントホール

【開催日時】  
2017年10月7日

【出演者】…



北川舞台公演

徳島県 北川舞台（八幡神社境内）

【開催日時】  
2017年10月1日

【内容】…

# 文化プログラム(イベント)情報ページ(例)

CultureNIPPON 言語を選択

エリア

From  To  キーワード

**りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館**

山本真希オルガンリサイタルシリーズ～グレンツィングオルガンの魅力No.23 フランスの音楽～フランス古典期から近現代までを彩る作品～

beyond2020 公演




会場：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

【開催日時】  
2017年10月6日 19：00～（開場 18:30）

【出演者】  
オルガン／山本真希（りゅーとぴあ専属オルガニスト）  
フルート／神田勇哉（東京フィルハーモニー交響楽団首席奏者）

【内容】  
りゅーとぴあ専属オルガニストによるリサイタル・シリーズ。フランスの古典期から近現代までの作品を、フルートの神田勇哉（東フィル首席）と新潟市ジュニア合唱団の共演で。

【料金】  
全席自由：2,000円

【主催者】  
公益財団法人新潟市芸術文化振興財団

【お問い合わせ先】  
りゅーとぴあチケット専用ダイヤル  
025-224-5521(11:00～19:00/休館日除く)

【Webサイト】  
<http://www.ryutopia.or.jp/performance/event/3841/>

【外国語対応】  
英語  
（ホームページ英語対応あり）

【バリアフリー対応】  
車いす

[この場所の詳細情報をみる](#)

# 文化施設(会場)情報ページ(例)

[当該施設で開催されるイベントをまとめて閲覧することが可能](#)

**Culture NIPPON** 文化祭
言語を選択 ▼

エリア

From  To  キーワード



**りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館**

住所 〒951-8132 新潟県新潟市中央区一番堀通町3-2

電話番号 025-224-5622

URL <http://www.ryutopia.or.jp/>

営業時間 開館時間/9:00~22:00 休館日/毎月第2・第4月曜日(祝日にあたる場合はその翌日)、年末年始(12/29~1/3)

この場所をGoogleで検索

イベント

### 第9回千の風音楽祭

beyond2020 公演

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

【開催日時】  
2017/2/11~2017/2/11

【内容】  
この音楽祭は、名曲「千の風になって」の歌の心である「命の尊さと愛の素晴らしさ」を将来にわたって大切に伝えていくことを目的として、平成20年度から開催しているものです。第1部では、出演者一人ひとりが感じる「千の風になって」への想いを様々なジャンルで自由に表現していただくステージを行い、第2部では「千の風になって」の生みの親である新井満さんと歌手の菅原洋一さんに加え、トークゲストとして歌手の故三波春夫さんの長女・三波美夕紀さんをお迎えし、「スペシャルライブ」を行います。  
第1部には、幼少期より由良屋と語り出す学生時代にその才能に目をとめた担任の先生のお話で感動を始めたついでに、美夕紀さんが出演します。

すべて表示

### ラ・フォル・ジュルネ新潟「熱狂の日」音楽祭2017

beyond2020 公演

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 他3会場

【開催日時】  
2017/4/15~2017/4/30

【内容】  
クラシックファンはもちろん、クラシックコンサートが初めてという方や小さい子どもなど、誰もが一流の演奏を気軽に鑑賞することができる音楽祭です。新潟市の姉妹都市であるナント市との交流を牽引する取り組みとして2010年より毎年開催しています。今年は「LA DANSE ラ・ダンス 舞曲の祭典」をテーマに、中世から今日まで600年間にわたるダンスと音楽の深い関係を探ります。  
りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 他3会場 すべて表示

# 文化庁主催イベント紹介ページ

文化プログラム×北陸ブランド、多様な日本文化を世界へ。

カルチャーニッポン

## Culture NIPPON

シンポジウム in 富山

日時	2017年10月29日(日) 13:30~16:30(開場13:00) ※時間は予定であり、変更となる場合がございます。
会場	富山国際会議場大手町フォーラム(富山県富山市大手町1-2) <a href="#">公式サイト</a>
入場料	無料
定員	300名(申込受付順) <a href="#">申込はこちら</a>
主催	文化庁
共催	富山県
後援	(一社)富山県芸術文化協会、(公財)富山県文化振興財団、富山県教育委員会、富山市、朝日新聞社、北日本新聞社、共同通信社富山支局、時事通信社富山支局、富山新聞社、日本経済新聞富山支局、北陸中日新聞、毎日新聞富山支局、読売新聞北陸支社、NHK富山放送局、北日本放送、チューリップテレビ、富山テレビ放送

 



日本の文化や伝統を世界に発信。その新しい一歩を富山から。



ニッポン  
たからもの  
プロジェクト

日本遺産

NIPPON  
TAKARAMONO  
PROJECT

Live Art

10/14(土)  
福井県  
小浜公演

MENU

f

- 文化庁主催イベント紹介記事
  - ◆ 例: Culture NIPPON シンポジウム in 富山
  - ◆ 例: ニッポンたからものプロジェクト
- beyond2020 PickUpイベント
  - ◆ beyond2020プログラムに申請された情報の中からPickUpしたイベント情報

# PICKUPイベント紹介ページ



岡山県指定重要無形民俗文化財 瀬八幡宮祭りばやし

## 第59回中国・四国ブロック民俗芸能大会

昭和34年から中国・四国ブロックの各県が持ち回りで開催しており、平成29年度は岡山県が開催となります。中国・四国地方各地の貴重な民俗芸能を公開し、その価値を広く一般に周知する機会とし、民俗芸能の保存・振興、文化の交流、地域の文化振興等に役立てることを目的としています。今年度の出演発表の演目は、瀬八幡宮祭りばやし（岡山県）、高田神社獅子舞（岡山県）、江尻のこだいち踊（鳥取県）、津和野踊（島根県）、はねおどり（広島県）、別府戸神楽舞（山口県）、阿波人形浄瑠璃（徳島県）、香翠座子こ芝居（香川県）、藤岡神楽（愛媛県）、名野川獅子神楽（高知県）です。

### 開催概要

開催期間	2017年10月1日
開催場所	倉敷市芸文館
参加料金	無料
主催団体	第59回中国・四国ブロック民俗芸能大会実行委員会
お問い合わせ	(086) 226-7601

### 【見所】

岡山県倉敷市に中国・四国地方各地に伝承されている民俗芸能が集まります。神楽や踊り、芝居など様々な民俗芸能を一堂に鑑賞することができます。出演する芸能は国指定や各県指定の重要無形民俗文化財で、合わせて10団体です。岡山県では9年ぶりの開催となっております。各舞台の間には、民俗芸能の解説や出演団体代表者へのインタビューも行います。普段は聞くことのできない民俗芸能の由来や継承の話を民俗芸能の舞台裏を聞くことができます。伝説を受け継ぐ団体の熱演をご覧ください、素晴らしい民俗芸能に親しむ機会となっておりますので、ぜひご来場ください。



岡山県指定重要無形民俗文化財 高田神社獅子舞



国指定重要無形民俗文化財 阿波人形浄瑠璃



山口県指定重要無形民俗文化財 別府戸神楽舞



## 新・秋田の行事in大仙2017

新・秋田の行事は、2016年にユネスコ無形文化遺産登録された「山・鉾・屋台行事」の、「角館祭りのやま行事」、「土崎神社祭の曳山行事」、「花輪祭の屋台行事」をはじめ、秋田県内の伝統芸能やお祭りが大仙市に一堂に会し、本県の伝統文化を一堂に堪能できる祭典です。普段は見ることができない各地の伝統芸能の公演や歩きによる井浜のほか、伝統芸能の息を体感できる「ふれあい体験ブース」や、秋田のご当地グルメを楽しめる「大仙グルメストリート」など、秋田の文化を満喫できます。また、10月14日は、「大曲の花火 秋の章『花火劇場〜あきた演劇〜』」と同時開催します。

### 開催概要

開催期間	2017年10月14日～2017年10月15日
開催場所	大曲駅前・花火通り商店街周辺、大曲市民会館
出演者	「角館祭りのやま行事」、「土崎神社祭の曳山行事」、「花輪祭の屋台行事」、「西馬内内の鼓謡」ほか
参加料金	「大曲駅前・花火通り商店街周辺」無料、「大曲市民会館」前売り1,000円
主催団体	新・秋田の行事実行委員会、秋田県、大仙市
お問い合わせ	0186601530（秋田県文化振興課）又は0187631111（大仙市観光交流課）



昨年「新・秋田の行事inおおだC2016」の様子



大曲の花火林の章（イメージ）

### 【見所】

全国最多の17の国指定重要無形民俗文化財を有する秋田県を代表する伝統芸能やお祭りを一堂に会した伝統芸能の祭典を10月14日（土）と15日（日）の2

# BEYOND2020プログラム／申請フォーム

## beyond2020プログラム

### beyond2020プログラムとは？

2020年以降を見据え、日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーを創り出す文化プログラムを「beyond2020プログラム」として認証し、日本全国に展開します。beyond2020は、国や地方公共団体等の公的機関に加え、非営利団体、商工会議所、民間事業者等、日本全国の幅広い関係者が参画し、オールジャパンで統一感をもって推進し、日本全国の盛り上げを図っていくものです。beyond2020の認証を通じ、障害者にとってのバリアや日本を訪れる外国人にとっての言語の壁を取り除き、すべての人が参画できる社会に向け、企業等の行動に変革を促していきたいと考えています。beyond2020として認証した活動にロゴマークを付与することで、主催する団体や目的、内容も異なる様々な活動が、こうしたbeyond2020の理念を共有しているというメッセージを届け、beyond2020の活動が広く国民の皆さんに認知されることを目的とします。

### beyond2020プログラムの認証要件

日本文化の魅力を発信するとともに、共生社会、国際化に繋がるレガシーを創出するため、以下を認証要件とします。

#### 日本文化の魅力を発信する事業・活動

※日本文化とは、伝統的な芸術からクールジャパンとして世界中が注目するコンテンツ、和食などの食文化、祭りや伝統的工芸品など、多様なものを含んでいます。

#### 多様性・国際性に配慮した、以下のいずれかを含んだ事業・活動

- 障害者にとってのバリアを取り除く取組
- 外国人にとっての言語の壁を取り除く取組

公的機関のほか、民間事業者、その他任意団体等幅広い方が実施する事業・活動が認証の対象となり、営利活動、非営利活動に関わらず、文化に関わる幅広い活動を認証します。

### ロゴマークについて



beyond2020ロゴマークのデザインは、「いいね」や「グッド」などの賛同のジェスチャーをモチーフにしています。加えて、beyondの「b」や、日本を象徴する「わ」とも読み取れます。日本の文化を共に継承し広げていきたい、との願いを込めて、2020年を新たな発展へのステップとしてシンボライズしたロゴマークです。

### beyond2020プログラム申請

#### 申請方法

beyond2020プログラムの認証申請は次の2通りの方法で受け付けております。

- 1) Webサイトによる申請
- 2) 電子メールによる申請

※申請から認証まで2週間程度の期間を要します。



以下の項目を入力した後、「確認」を押してください（※は必須項目です）



### 団体概要

名称 ※	組織・団体名
	組織・団体名の読み（カタカナ）
名称（英語表記）	組織・団体名の英語表記
代表者氏名 ※	代表者の氏名
	代表者の氏名の読み（カタカナ）
代表者役職 ※	代表者の役職
	代表者の役職の読み（カタカナ）
担当者氏名 ※	担当者の氏名

- beyond2020申請受付
  - ◆ 内閣官房／文化庁／新潟市／京都府...など複数の窓口で申請を受け付け
- このうち、文化庁・新潟市は電子申請に対応
  - ◆ beyond2020プログラム申請のためのWebフォームを提供
- その他窓口の申請情報も文化情報プラットフォームに取り込み
  - ◆ 内閣官房・京都...(今後、拡大予定)

# 本格稼働に向けて

《現行》

1. beyond2020のみ登録可能
2. 施設情報に紐づけ(施設の入力が必須)
3. 機械翻訳で英語対応
5. 文化庁HP(Culture NIPPON)のみで利用

《今後の方向性》

1. **一般の文化イベントの登録**を可能に
2. **団体情報**に紐づけ(団体がHP代わりに利用可能)
3. 機械翻訳で**4か国語対応**(英、中、韓、仏)
4. **オープンデータ**として**利用可能な状態**に(利用規約、クリエイティブコモンズ等の整備)

《主な課題》

1. 情報の量
2. 著作権・肖像権(特に写真)
3. 管理者の拡大
4. 翻訳言語の拡大と質の担保
5. オープンデータの利用促進
6. 自走化に向けて

**JOIN US !**